

No. 4

近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(平成18年度第3回)

大阪税関南港出張所 コンテナ検査センター 開披検査場

平成19年3月

国土交通省 近畿地方整備局

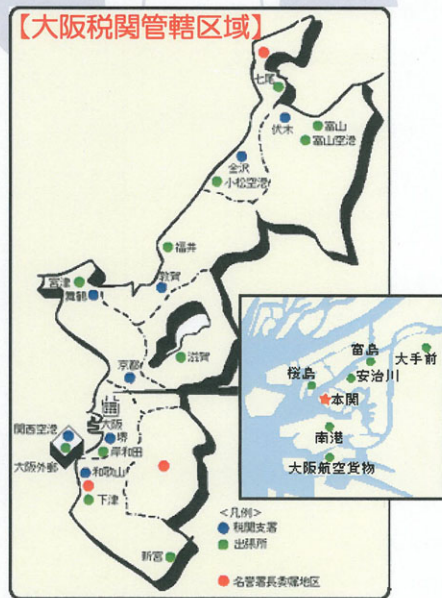
◆事業目的

大阪税関南港出張所コンテナ検査センターに開披検査場を建築し、輸出入されるコンテナ貨物に関する審査・検査・通関手続の迅速化、効率化及び利便性向上を図る。



◆税関の業務概要

- 監視行政
密輸の取締り
- 通関行政・税務行政
輸出入貨物の通関
関税徴収
- 保税行政
保税地区の管理等



※出典：税関HPより

◆施設整備当時の社会情勢

総合物流施策大綱の策定（平成9年4月閣議決定）

アジア太平洋地域で最も利便性が高く魅力的な物流サービスが提供されるようになること等を目標。

具体的な努力目標：平成13年度までに、入港してコンテナヤードを出るまでに必要な時間を現在の4日～5日から2日程度へ短縮（平成17年発表で1.9日）

新総合物流施策大綱の策定（平成13年7月閣議決定）

物流分野において、コストを含めて国際的な競争力のある水準の市場が構築されること等を目標。

国際物流拠点の機能強化を図るため、通関手続の簡素化・効率化を図る。

◆施設整備当時の社会情勢

大阪港におけるコンテナ貨物の増大

平成13年の輸出入
コンテナ貨物量

約150万
TEU



平成17年の輸出入
コンテナ貨物量

約180万
TEU



協力：大阪市港湾局

TEU：20フィートコンテナ1個を1TEUと数える単位
20フィートコンテナ：幅高さともに2.4m 長さ約6m

コンテナ貨物検査の強化

- ・コンテナ貨物の開披検査スペースの整備
- ・コンテナ貨物の非開披検査から開披検査までの時間短縮

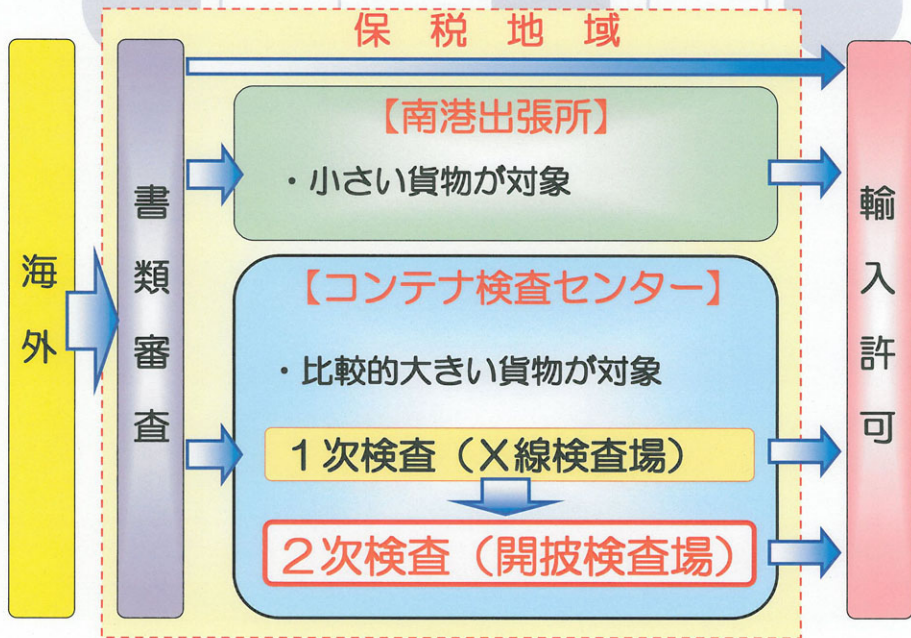
開披検査
状況



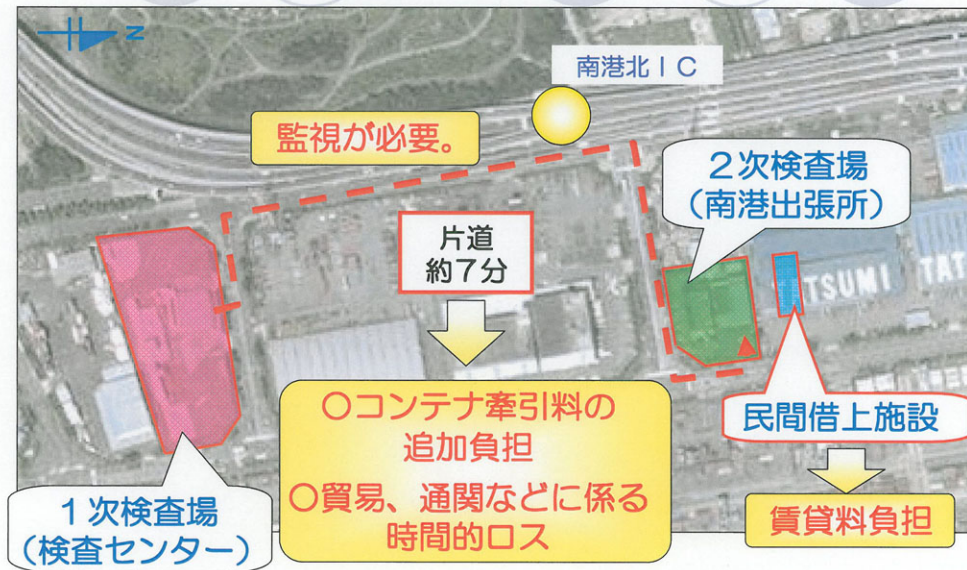
X線検査
状況

写真(上下)：大阪税関バンパより

◆輸入貨物の流れ



◆ 施設整備前の諸問題



◆ 施設整備前の諸問題

○ 開披検査スペース不足

- X線検査場整備による1次検査能力の向上にかかわらず、2次検査場スペースの不足。
- 検査待ち期間が長いため、輸出入業者は独自に保税倉庫の確保。
- 輸出入業者の倉庫確保次第で、税関職員による検査の計画的実施に支障。

○ 1次検査場と2次検査場の分散

- 2次検査場へ行く際、追加の牽引料が必要。
- セキュリティ確保のため、監視が必要。

◆コンテナ検査センター開披検査場概要

- ・ 事業場所：大阪府大阪市住之江区南港東7-3-60
- ・ 完成年度：平成15年度
(工期) (平成15年8月～平成16年3月)
- ・ 構造規模：鉄骨造 地上2階建
- ・ 敷地面積：16,529㎡
- ・ 建築面積：1,189㎡
- ・ 延べ面積：1,558㎡
- ・ 総事業費：479百万円
- ・ 職員数：17人(荷役員4名)

◆コンテナ検査センター開披検査場

【西面】



【事務棟】

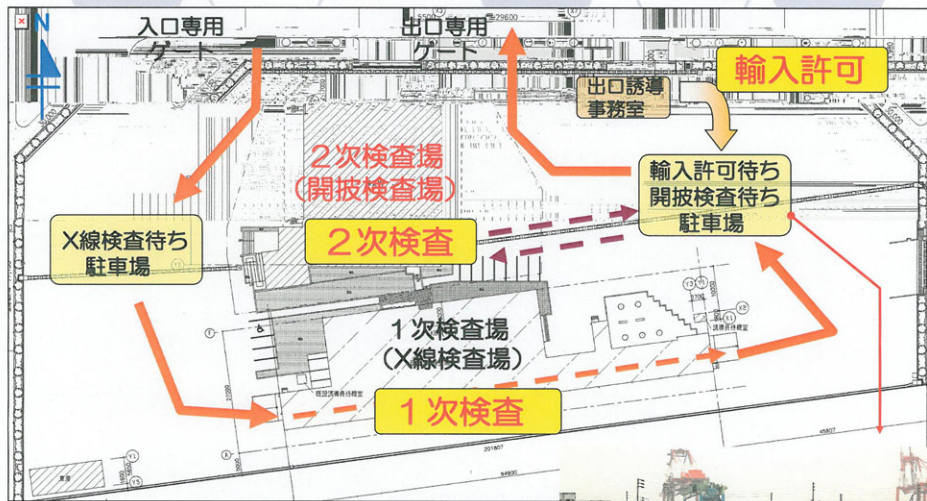


【東面】



【屋上太陽光パネル】

◆ コンテナ貨物の流れ (検査センター内)



◆開披検査場内の状況

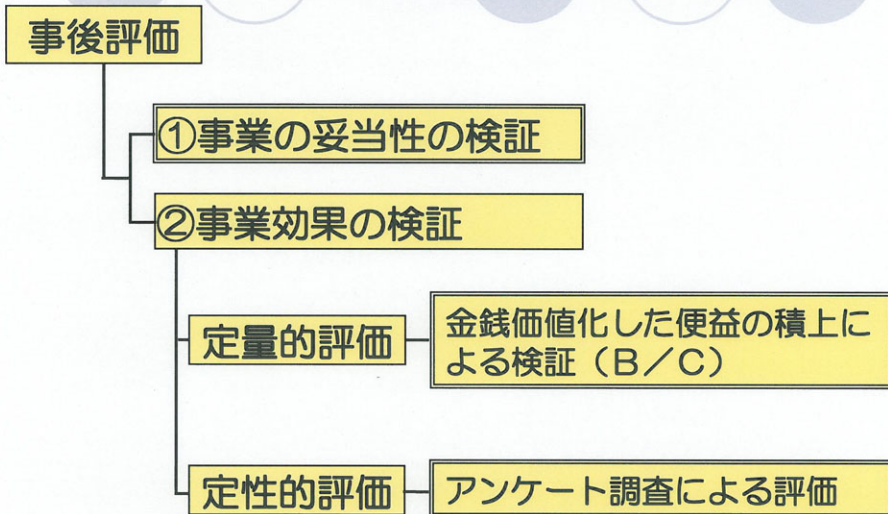
検査スペースの増大、コンテナ貨物車寄せ箇所数の増加により、検査業務の効率化が図られた！



◆施設整備による諸問題の解消



◆ 評価全体の考え方



◆事業の妥当性の検証

評点：110点

*100点以上であれば事業をめぐる現在の社会情勢に適合。

分類	項目		係数				係数
			1.1	1	0.9	0.8	
位置	①	用地取得の見込	取得済み又は現地建替	国有地の所管替予定、公有地等の借用予定、建設までに用地取得の計画あり又は民有地を長期間借用可能なもの			1.0
	②	災害防止・環境保全	自然条件が災害防止・環境保全上良好	自然条件の不備を技術的に解消できる		自然条件に災害防止・環境保全上やや支障がある	1.0
	③	アクセスの確保	周辺に道路・鉄道等が整備済み	整備の見込あり			1.1
	④	都市計画・土地利用計画等との整合性	都市計画・土地利用計画等に積極的に貢献	都市計画等と整合	条件整備により都市計画等との整合が可能		1.0
	⑤	敷地形状		敷地が有効に利用できる形状であり、安全・円滑に出入りできる構造の道路等に接している		敷地が有効に利用できる形状ではない	1.0
規模	⑥	建築物の規模	業務内容等に応じ、適切な規模が設定され、敷地の高度利用について配慮している	業務内容等に応じ、適切な規模が設定されている		規模と業務内容等との関連が不明確	1.0
	⑦	敷地の規模	駐車場、緑地等に必要な面積が確保されている	建築物の規模に応じ適切な規模となっている	駐車場の確保に支障がある		1.0
構造	⑧	単独庁舎、合同庁舎としての整備条件		単独庁舎としての整備が適当			1.0
	⑨	機能性等	適切な構造、機能として計画されている	標準的な構造として計画されている、又は、特殊な施設で必要な機能等が満足される計画		適切な構造、機能として計画されていない	1.0
評点							110

◆定量的評価(B/C)

(千円)

	現在価値
総費用C	851,546
1.初期費用	539,885
2.維持修繕費	311,661
総効果B	2,397,837
1.民間借上施設の解消	290,077
2.移動負担の解消（立地の改善）	1,948,181
3.監視関係費用の削減	156,841
4.現場検査件数の削減	2,739

総効果B (百万円)	総費用C (百万円)	B/C	評価時点
2,398	851	2.82	平成18年度

◆定性的評価(アンケート)

【利用者（荷役業者）】

- 実施日 : 平成18年12月7日
- 実施方法 : 直接ヒアリング

【職員】

- 実施日 : 平成18年1月16日～1月31日
- 実施方法 : 総務部を通じて配布・回収

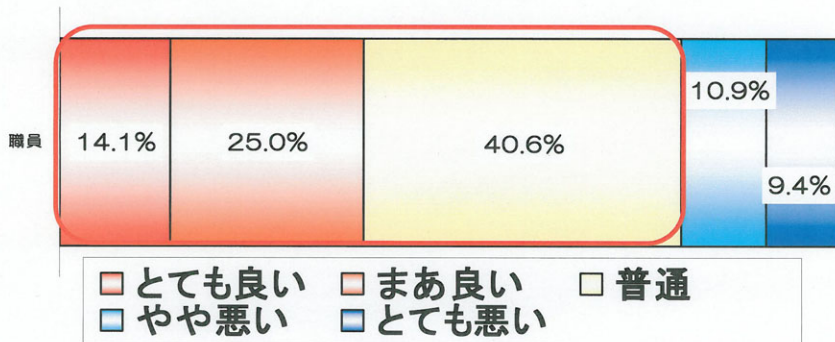
【アンケート実施結果】

種別	配布数	回収数	回収率
職員	28	24	85.7%

◆規模についての総合評価

「デスクスペースの広さ」「執務室の作業スペースの広さ」「検査スペースの広さ」等の規模に関して調査した結果である。

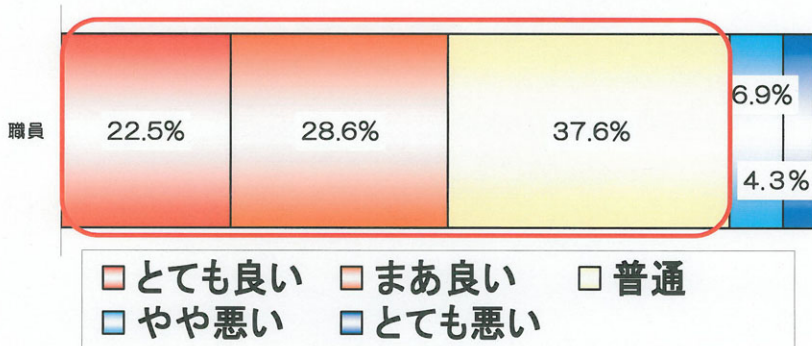
普通・まあ良い・とても良いとの回答率が、79.7%という結果となった。



◆機能についての総合評価

「施設の使いやすさ」「施設の安全性」「室内の快適性」等の機能に関して調査した結果である。

普通・まあ良い・とても良いとの回答数が、88.7%と概ね満足している結果となった。



◆現地ヒアリング結果（定性評価）

【職員】

南港出張所とコンテナ検査センター開披検査場で検査内容による役割分担化が可能になったことにより、検査作業の明確化・効率化が図られた。

【利用者（荷役業者）】

検査スペースが非常に広くなったので、検査作業が効率的に行えるようになり、予定時間内に検査を終了することができるようになった。

◆ 評価結果のまとめ(案)

・ 評価の内訳

- ① 事業の妥当性の検証: 事業をめぐる現在の社会情勢に適合: 評点 110 点
- ② 事業の効果
 - 定性的評価 — アンケート: 概ね満足度が高い施設
 - 定量的評価 — B/C: 2.82

・ 今後の事後評価の必要性

事業の妥当性およびアンケート結果は概ね良好であり、さらなる事後評価は必要ないと思われる。

・ 改善措置の必要性

特に必要ないと思われる。

◆評価結果のまとめ(案)

- ・ 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

特に必要ないと思われる。

- ・ 対応方針(案)

当初計画の目的は概ね達成できている。通関手続の効率化による申請者への行政サービス向上が図られており、改善措置の必要性はないものと考えられる。今後、定期的に施設の実態調査を行い保全指導等を実施していく。



大阪税関南港出張所コンテナ検査センター開披検査場